

単元名 読書生活を豊かに ―読書を楽しむ
配当時間 2時間

- 単元の目標** (1) 本や文章から、目的に応じて必要な情報を読み取ることができる。
 (2) 文章中のものの見方を捉え、自分のものの見方や考え方を広げることができる。
 (3) 課題に沿って本を選び、その内容を進んで紹介しようとする。

標準的な展開例

10210119_001

【準備等】 用紙、サインペン、色鉛筆等

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 読書ノートに記録を残し、友達に紹介したり、感想を伝え合ったりする。 ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ おすすめの本をポップで紹介しよう。 ○ 友達に紹介したい本を決める。</p> <p>○ 紹介に必要な情報を整理する。</p> <p>○ 紹介のための準備をする。</p> <p>○ ポップを作成する。</p> <p>2 「本の中の中学生」というテーマで、推薦文を書く。 ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 「本の中の中学生」というテーマで、推薦文を書こう。 ○ 「本の中の中学生」の三編の作品を読む。</p> <p>○ 三編の作品の感想を交流する。</p> <p>○ 「本の中の中学生」というテーマで、推薦文を書く。</p> <p>○ 感想を交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 読書記録を基に決めさせる。 ・ 読書記録がない場合は、図書館で本を探させてもよい。 ・ 以下の項目をまとめ、本の内容や魅力が伝わるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ① 書名 ② 著者名 ③ 発行所名 ④ 発行年 ⑤ キャッチコピー ⑥ 内容の紹介 【評】 本の情報を整理する活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・ レイアウトを考えてイラストや文章を書かせる。 ・ 手順やポイントなどを示した活動計画書を用意し、配付してもよい。 ・ 学校や地域の状況に応じて、夏休みの宿題にしてもよい。 ・ 教室や学校図書館に展示するとよい。 ・ 学校や地域の状況に応じて、夏休み明けに提出してもよい。 【評】 ポップの作成を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・ 考えていることや悩んでいることが似ている登場人物、友達になれそうな登場人物はいないかなど、探しながらかよませる。 ・ 3～4人のグループを作り、気に入った作品とその理由を共有させる。 ・ 学校図書館や地域の図書館に行って続きを読んだり、同じ作者が書いた別の作品や、他の作家が書いた同じテーマの本を読んだりするなど、実際に本を手取るように促すとよい。 【評】 作品の感想を交流する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・ 学校図書館などを利用して、中学生が登場する小説や実在の人物の中学時代を描いたノンフィクションなどから一冊選ばせる。 ・ なかなか一冊を選べない生徒には、教科書の三編の続きを読ませ、推薦文を書かせてもよい。 ・ 「私の一冊」(p.92)、「本との出会い」(p.93)を参考にさせる。 【評】 推薦文を書く活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・ 推薦文を展示したり、スピーチをしたりして感想を付箋に書き、友達と交流させる。

【 備 考 】

小学校よりも読書の範囲を広げ、日常的に読書に親しむきっかけを作ることを目的としている。そのためには、身近な友人と本の情報交換を経験させ、本の情報を得るとともに読書を通じたコミュニケーションの輪を広げさせたい。本のおもしろさを伝える方法として、ここでは「引用」による方法を学ぶ。「引用」は、本の内容や表現を具体的に伝えると同時に、紹介する側も「引用」する箇所を選ぶことで、読みが深まる。本のおもしろさが効果的に伝わるよう、引用などを工夫して伝えさせたい。